

国際会議への
若手会員
参加補助制度
を実施しています！

国内開催の会議や
オンライン会議も対象で、
応募は通年で受け付けています。

国際会議 に参加しよう。

世界中に
弁護士ネットワークを広げ、
最先端の議論に
触れてみませんか

IPBA

Inter-Pacific Bar Association

環太平洋法曹協会

アジア太平洋の企業法務に特化

アジア・太平洋地域の法曹の交流と、ビジネス法務や商事法務に関する専門知識の共有等を目的とする法曹団体です。年次大会には、毎年1000人規模の参加があります。

2025年 年次大会

in シカゴ (米国)

2025年 4月23日～26日

ABA

American Bar Association

米国法曹協会

世界に会員をもつ全米最大の法曹団体

個人と団体を会員とし、継続研修や司法制度改革、弁護士業務規範規則の制定等、幅広い活動を行っています。大会では、公益・ビジネスを含む多彩なセッションが開催されます。

国際法セクション

年次大会 in ニューヨーク (米国)

2025年 4月28日～5月1日

2025年 年次大会 in トロント (カナダ)

2025年 8月6日～12日

AIJA

International Association
of Young Lawyers

若手法曹国際協会

45歳以下の法曹等を会員とする法曹団体

ヨーロッパ諸国を中心に、100カ国約6000人が加盟しています。

第63回年次大会

in ワシントンD.C. (米国)

2025年 8月25日～30日

LAWASIA

The Law Association
for Asia and the Pacific

アジア太平洋法律家協会

アジア太平洋の法律問題を広くカバー

アジア太平洋地域における法の支配の確立や、法曹の連携強化等を目的とする国際法曹団体です。年次大会では、国際人権、家族法、環境問題、企業法務、ADR等多様なテーマのセッションが開かれます。

第38回 年次大会 in ハノイ (ベトナム)

2025年 10月11日～13日

UIA

International
Association of Lawyers

国際弁護士連盟

多言語・多文化主義を掲げる

世界規模の法律家の団体

1927年に設立された国際法曹団体で、110を超える国から、団体や1600人以上の個人会員が加盟しています。大会では、英語だけでなく、フランス語、スペイン語も使用され、UIAが謳う「多言語・多文化」の理念を実感できます。

第69回 年次大会

in グアダハラ (メキシコ)

2025年 10月29日～11月2日

年次大会の登録費に関しては、若手会員に限らず割引価格で参加できる可能性があります。

IBA

International Bar Association

国際法曹協会

「世界の法曹の声」を掲げる世界規模の法律家の団体

1947年に設立された国際法曹団体であり、8万人以上の世界各国の法曹、170を超える国から190以上の法曹団体が加盟しています。ビジネスロー・人権・弁護士会運営等あらゆる分野を取り扱っており、年次大会の参加者数は数千名に上ります。

2025年 年次大会 in トロント (カナダ)

2025年 11月2日～7日

詳細は
日弁連ウェブサイトへ

日弁連 国際会議に参加しよう。 検索



オンラインフォームから
応募可能



※その他各種イベントの詳細については各団体のウェブサイトをご確認ください。

※記載の会議以外にも補助制度の対象となる会議がたくさんあります。

※開催時期・開催地については、本紙作成時点の情報です。オンライン会議についても、本制度による費用補助が適用される可能性がありますので、募集要項等、詳細は会員専用ウェブサイトをご確認ください。

お問合せ ● 日本弁護士連合会 企画部国際課 ☎ 03 (3580) 9741 / ✉ wakate-kokusai@nichibenren.or.jp

🌐 <https://www.nichibenren.or.jp/activity/international/member/conference.html>

JBFA 日本弁護士連合会



ABA 年次大会



LAWASIA 年次大会



IBA 年次大会

掲載されている会議例以外にも、
オンライン会議や国内開催の会議に
参加する場合も費用補助の対象となります！



IPBA 環太平洋法曹協会

Inter-Pacific Bar Association

●2025年年次大会 in シカゴ (米国)

Events The Inter-Pacific Bar Association [検索](#)



LAWASIA アジア太平洋法律家協会

The Law Association for Asia and the Pacific

●第38回年次大会 in ハノイ (ベトナム)

Conferences and Events LAWASIA [検索](#)



ABA 米国法曹協会

American Bar Association

●国際法セクション2025年 年次大会 in ニューヨーク (米国)

●2025年年次大会 in トロント (カナダ)

Events American Bar Association [検索](#)



UIA 国際弁護士連盟

International Association of Lawyers

●第69回年次大会 in グアダラハラ (メキシコ)

Events UIA [検索](#)



AIJA 若手法曹国際協会

International Association of Young Lawyers

●第63回年次大会 in ワシントンD.C. (米国)

AIJA Upcoming Events [検索](#)



IBA 国際法曹協会

International Bar Association

●2025年年次大会 in トロント (カナダ)

Conferences & Events International Bar Association [検索](#)



VOICE

参加者の声

- ▶様々なセッションに参加し、各国の弁護士と情報交換することで、各国の法制度の概要や実務知識を得ることができた。特定の分野に特化した限定的な知識ではあるが、知識に実感感覚を伴えることができ、総論的な講義で得るものよりも使える知識になったと感じている。今後の弁護士会等での活動で会員らと共有していきたい。
- ▶地方の弁護士にとっても、涉外案件に対応することが必要不可欠となってくる。国際会議に参加し、多くの外国人弁護士と交流したり、最先端の議論についての講義を受講したりすることは、弁護士個人の能力向上のために非常に重要である。
- ▶日本の弁護士も、もっと他地域の弁護士と交流し、日本の独自な点(例えば原発事故被害、災害対応、薬害訴訟等)は海外にも紹介して、異なる分野の実践からも学び合った方がよいのかもしれないと感じた。
- ▶女性差別、権力にあらがう弁護士の保護が、今なお喫緊の課題であると感じた。実務家としての事件活動やプロボノ活動のほか、国際法律家

団体に入って一員として、UIAやLAWASIAが行う連携・支援に参画することも、一手段であると分かった。

- ▶各セッション間の休憩時間や昼食時にも様々な国の弁護士や法律家の方と交流できた。
- ▶参加したスポーツ法のセッションは、今後日本のスポーツ選手やスポーツ業界が直面していく問題を先取りするものであった。日本ではスポーツ界でもコーチや競技団体によるパワハラ問題がいくつも報道されているが、セッションに参加して、世界はスポーツ選手の保護や契約問題について何歩も先に進んでいることが分かった。
- ▶参加した会議は、労働者側で労働事件を専門的に扱う弁護士や労働組合関係者のみに参加が認められているため、自由闊達な意見交換をすることができ、日本では知り得ない各国の労働紛争の実情やビジネスと人権に関する最先端の取組を知ることができた。自らの興味や専門分野を論議される国際会議に出席することの意義は大きいのではないだろうか。

JFBA 日本弁護士連合会

国際会議への若手会員参加補助制度を実施しています！

日弁連 国際会議に参加しよう。 [検索](#)

